

令和7年度 総合型選抜 人間健康科学部 福祉学科 小論文  
出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

- ・問題文のテーマは「子どもの貧困」である。このテーマについては、社会的な関心も高く、各方面で多様な議論がされてきている。そのようななか、筆者は、この問題について客観的な分析・解説を行ったうえで、独自の見解や主張を提示している。それらを区分しつつ、深く、的確に読み取るとともに、それらを踏まえつつ、ともすると感性的・感情的な議論となりがちなこの問題について、解答者自身の考えを、論理的に説明することができるかを問う設問とした。
- ・設問1・2については、問題文の必要な箇所を要約しつつ、筆者の見解を的確に説明できているか、設問3については、日本の相対的貧困についての自身の見解を、自分なりの根拠を提示しながら論理的に論述できているかを中心に評価した。

【解答の傾向】

- ・設問1については、筆者は、ツイッター炎上の要因を、問題文全体を通じた相対的貧困の検討を踏まえつつ指摘している（そのため、問題文の冒頭だけでなく、後半部分でも、この炎上問題が触れられている）。解答では、問題文冒頭で紹介される事実関係を要約したものが大半で、上記の点を踏まえつつ説明できていたものは限られていた。
- ・設問2については、「格差」と「相対的貧困」の異同を踏まえつつ、その関係を適切に説明できていたものが、比較的多く見受けられた。ただし、一部の解答に「格差」「相対的貧困」「相対的貧困」の概念やそれぞれの関係性を混同しているものがみられた。
- ・設問3については、貧困世帯に対する国による教育資金の支給など、具体的な金銭的支援の必要性を指摘するものが多くみられた。その際、そのための財源はどのように確保されるべきか、子どもの貧困問題が社会でこれだけ大きくクローズアップされるなかで、金銭的支援などの目にみえやすい支援策がなぜ十分に行われてこなかったのか、そもそも貧困そのものを減らしたり食い止めたりしていくためにはどうしたらよいか、といった点まで踏み込んで言及できている解答は限られていた。

第2問

【出題の意図】

- ・図表から基本的な内容を読み取ることができるかどうかを問うた。
- ・これらの材料をもとに、今後の地域福祉課題について自分の考えを論述することができるかを問うた。

【解答の傾向】

- ・図表の読み取りはおおむねできていたが、なかには同一のことを言い換えただけの解

答もみられた。より望ましいのは、あれもこれもといった脈絡のない解答より、「わが国における地域福祉施策の留意事項」という設問の趣旨に沿った解答である。

- 解答結果はおおむね正規分布の形状をしていた。成績上位者の解答は、高齢化の進展に伴って予想される地域社会や紐帯意識の変化に言及していた。
- 一部ではあったが、設問3の解答が未完成にとどまっていた。日常生活において地域福祉課題に関する情報は少なくないはずである。これらの情報にふだんから関心を持ってアクセスするとともに、それらの背景などについて自分で調べて、自分の考えを文章にするなどの練習をしておくことが望まれる。

出典補足：

“Attitudes on an Interconnected World.” Pew Research Center, Washington, D. C. (December 6, 2023)

[https://www.pewresearch.org/global/wp-content/uploads/sites/2/2023/12/gap\\_2023.12.06\\_global-citizenship\\_report.pdf](https://www.pewresearch.org/global/wp-content/uploads/sites/2/2023/12/gap_2023.12.06_global-citizenship_report.pdf)Pew Research Center has published the original content in English but has not reviewed or approved this translation.